

開設講習名	【選択】アメリカ文化を家族から学ぶ		講師	藤本 幸伸	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 11 月 18 日		時間数	6 時間	受講予定人数 30 人
受講者募集期間	平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 10 月 4 日		履修認定時期	平成 30 年 1 月 15 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校・高等学校英語教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

【到達目標】

アメリカの家族像の理解を通じて、アメリカ文化の重要概念とその発想の理解を深めることができる。
インターネット上で利用可能な基本文献、およびアメリカ社会を映し出す映像作品を活用・工夫できる。

【講習の概要】

社会の基本単位である家族のあり方を学ぶことで、その社会が抱える課題を知ることが出来る。今日のアメリカ社会では、白人と黒人・ヒスパニック・アジア系との間だけでなく同じ人種の間でも、収入や成功の機会に格差が広がっている。経済格差の拡大とともに、中流階層の衰退が進行し、「家族を守る強い父親」を中心とする家族像に変化が起き、さらに伝統的家族像の変化によって、親の世代が享受した「成功の夢」は若い世代の目には幻想としか映らなくなる。「成功の夢」という共有すべき価値観が遠のくにつれ、異なる価値観の人々との共同の活動が減退していき、似た者同士の小さな集団へ萎縮していくことになって、他者への寛容さが薄らいでいきつつある。このようなアメリカの家族の変化を、基本文献や映像作品を活用しつつ追っていき、時間の許す限り、参加者同士の意見を交換していく。

- (1) 基本文献や統計資料を参照しながら、アメリカの家族が抱えている課題の概略を知る
質疑応答およびグループ・ディスカッション
- (2) アメリカ家族を題材とする映像作品の紹介
質疑応答およびグループ・ディスカッション
- (3) 基本文献や映像作品に基づいてアメリカ家族の課題を検討する
質疑応答および各グループの作業
- (4) 各グループによる検討結果のプレゼンテーション
質疑応答および各グループからのコメント

以上のような手順で、講習を行う予定ですが、時間配分の都合上、短縮する箇所もあります。

【評価の方法・評価基準】

評価の方法：筆記試験
評価基準：講義の内容を理解し、学んだ知識を活用できる。
不合格：上記以外

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。

【受講者への伝達事項】

筆記用具、電子辞書(必ず使うわけではありませんが、あると便利です)